

仁賢天皇陵古墳

宮内庁は、この前方後円墳は第 24 代天皇である仁賢天皇の墓であると考えている。仁賢天皇の統治は 5 世紀の間であったと考えられている。

古墳の北西には 6 世紀の野々上埴輪窯跡が 2 基ある。これらは 1981 年に見つかり、仁賢天皇陵を飾った埴輪を作るために使われていたようだ。ひとつの窯はすでに崩落していたが、中からは埴輪が多数出土した。もう 1 基は保存のため内部の発掘を行っていない。2 基の研究から、この地域にある多くの古墳を飾った埴輪を作った職人の技術や能力への理解が大いに進んだ。

仁賢天皇陵古墳は高さ 10 メートルで面積はおよそ 1 ヘクタールである。狭く浅い塚が囲んでいる。外部から出土された埴輪に基づき、6 世紀の初期に築造されたと考えられている。